



図1. 石川県産ナカネダルマガムシ.

査結果から考察しており、ナカネは“川幅の狭い山地の源流部に生息”すると推測している。本種の確認地点は、吉富・林 (2019) が推測したナカネの生息環境と類似する環境が見られた細流の下流部に位置していることから、上流側の細流内には本種の主要生息地が存在する可能性がある。

#### 引用文献

- Matsui, E., 1986. Notes on some new Hydrophiloidea from Japan (Coleoptera). Papers on entomology presented to Prof. Takehiko Nakane in commemoration of his retirement, Special Bulletin of the Japanese Society of Coleopterology, 2: 81-90.
- 渡部晃平, 2010. 石川県未記録の水生甲虫7種の採集記録. 甲虫ニュース, (171): 9-10.
- 渡部晃平, 2012. 【訂正】「石川県未記録の水生甲虫7種の採集記録」の訂正. さやばねニューシリーズ, (7): 17.
- 渡部晃平, 2015. 石川県で採集した水生昆虫の記録 (2015). とっくりばち, (83): 35-40.
- 吉富博之・林 成多, 2019. 鳥根県の河川に生息するセスジダルマガムシ属・ホシザキグリーン財団研究報告, (22): 77-83.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戌3番地  
石川県ふれあい昆虫館)



#### 【所蔵文献紹介】つねきばち

つねきばちは、日本蜂類同好会が出版している雑誌で、当然のことながらハチ目に関する論文が掲載されている。同誌に以下の甲虫類関係の報告が掲載されていたので紹介する。

本メモは、2019年愛媛大学ミュージアムに寄贈された故・河上友三氏の標本と蔵書の一部に本誌が含まれており作成することができた。蔵書の寄贈に際しお世話になった河上友三氏の遺族と高知昆虫同好会の皆さまにお礼申し上げる。



- 田埜 正・黒川秀吉・室田忠男・野坂千津子, 2004. 2003年に長崎県対馬で採集した甲虫類. つねきばち, (2): 75-80.
- 下野谷豊一, 2004. シャープゲンゴロウモドキ (*Dytiscus sharpi* Wehncke, 1875) の採集記録. つねきばち, (2): 18.
- 大平仁夫・田埜正, 2004. 対馬で採集されたコメツキムシについての補足説明. つねきばち, (3): 63-66.
- 斎藤 剛・杉浦直人・初宿成彦, 2005. 日本未記録のオオハナノミ科甲虫 *Rhipiphorus* sp. の熊本県からの発見. つねきばち, (5): 68-70. [日本未記録属・種 *Rhipiphorus* sp. が阿蘇地方で8月に得られている.]
- 室田忠男, 2007. トラマルハナバチを誘うホトトギス属とハナバチヤドリキスイ. つねきばち, (11): 39-40. [写真とともに観察結果が示されている.]
- 杉浦直人・弓山めぐみ, 2010. エゾトラマルハナバチに便乗するハナバチヤドリキスイ (鞘翅目: キスイムシ科). つねきばち, (18): 35-37.
- 礼文島における観察記録.  
高橋秀男・森川正昭, 2012. ムモンオオハナノミの産卵場所. つねきばち, (22): 54-55.

(吉富博之 愛媛大学ミュージアム)